

タイ国内 不正薬物関連ニュース（26年6月上旬）

・6月6日

タイ東北部で麻薬組織の主犯格を逮捕。覚醒剤や新型ドラッグ「ハッピーウォーター」押収

タイ警察は5日、コンケン県の宿泊施設を搜索し、ルーイ県を拠点とする麻薬組織の主犯格とされる39歳の男を逮捕した。男は複数の逮捕状が出ている逃亡犯で、仲間4人とともに潜伏していた。

搜索では、覚醒剤38錠、アイス（結晶メタンフェタミン）10.4グラム、拳銃1丁、実弾27発に加え、新型ドラッグ「ハッピーウォーター」53袋を押収。男は薬物事件のほか窃盗や逃走事件でも指名手配されており、裁判所への出頭義務も怠っていた。警察は男を麻薬・銃器関連容疑で、同行していた4人も薬物関連容疑で立件。押収した薬物の流通ルートや組織の実態について捜査が続いている。

(情報ソース https://www.khaosod.co.th/around-thailand/news_10271923)



・6月9日

**ナイジェリア系犯罪組織の首領、バンコクで逮捕
コカイン密売で摘発**

タイ当局と韓国の国情院は合同で、バンコクなど10か所を搜索し、覚醒剤の製造に使われる化学薬品約50トンを押収。押収量は覚醒剤約21トン（時価約8,840億円相当）の製造が可能な規模とされる。今回の捜査は、4月に韓国で逮捕された「アジア最大の麻薬王」と呼ばれるタイ人容疑者をきっかけに実施されたもので、韓国政府機関が海外の麻薬供給拠点の摘発に直接関与したのは初めて。

(情報ソース <https://mgronline.com/crime/detail/9690000054935>)



・6月10日

タイで違法薬物の原料を押収＝時価8800億円分

韓国の国家情報院（国情院）はタイ当局と合同で、バンコクなど10か所を搜索し、覚醒剤の製造に使われる化学薬品約50トンを押収した。押収量は覚醒剤約21トン（時価約8,840億円相当）の製造が可能な規模とされる。

今回の捜査は、4月に韓国で逮捕された「アジア最大の麻薬王」と呼ばれるタイ人容疑者をきっかけに実施されたもので、韓国政府機関が海外の麻薬供給拠点の摘発に直接関与したのは初めて。

(情報ソース <https://www.dsi.go.th/th/Detail/2793ccadf8d96c9c0f3ac3ce5990d1f1>)



薬物検査サービスについては下記ウェブサイトをご参照下さい。

<https://npdhealthcare.co.th>



AED（自動体外式除細動器）レンタルサービスについては下記ウェブサイトをご参照ください。

<https://aed.npdhealthcare.co.th>

